

久礼田の盆地を掘ってみいや
石油がとび出るぜよ

古谷栄幸さん（植田）



市の財政難をフツとばす作品だ。市税が不要になると「ごめんの町」ならぬ「ごめん市」になる。でも、温泉の方がもっといいのかも…。お金持ちになりたいとの夢…。
少なくとも21世紀にその期待だけはしておきましょう。

全自動田植え刈り取り機？ 意外に実現しそうな夢ですね。モミ摺りは、できるんじゃないかな？
こうなったらオニギリも作ってもらいたいネー。
米の減反への反対というより、食料危機へのメッセージと受けとります。いつかはこんな風景みてみたい！



▲いつもにぎやかな広報委員会

発想に仰天！ 走り初めしてみたいネ。料金所がないのがうれしいネー。「買い物にちょっとシドニーまで」なんていいネ。竿持って魚釣りも楽しそう。
けど、交通事故がおきたら消防署は大ごとになるネ。所轄でモメたりして。（爆笑）



▲「食料不足で二期作復活…」
岩本タケオさん（金地）

▼「四国四橋時代」
— 南国・シドニールート完成 —
920さん（陣山）



市制40周年 マンガでつづる 21世紀への夢

春 座 談 会
新 1999 会



あけましておめでとーございます。市民の皆さまにとって、今年1年が素晴らしい年となることをお祈りいたします。
さて、広報委員会では、うさぎ年の初春の夢をマンガで占ってもらおうと、1枚マンガ「なんこく漫歩」で、毎月作品をお願いしている市民作家の皆さんに「21世紀への夢」を描いていただきました。宇宙規模の夢、地球規模の夢、また家族・市民レベルの夢などさまざまです。
南国市にとって節目となる記念の年、1999年。11月1日には市制40周年を迎えます。皆さまそれぞれが健康で充実した素晴らしい1年を過ごされることを願いながら、広報委員が楽しく座談会を開きました。さあ、一緒に「夢」を追ってみましょう。

きれいな絵ですね。女性操縦士は、向井さんでしょうか？よく似ていますね。現実には飛ばなくても、文化施設として建ててみたらいいかも。
中へ図書館を入れたりして（笑い）
移動図書館にする？出張が大変やネー。（爆笑）



▲「宇宙観光ツアー」
澤本英世さん（里改田）

これだけは実現したいですネ。
交通拠点の特徴を活かして丹念
にまちづくりを続けていけば、
いつかきっと買い物の楽しい商
店街が復活すると思いますネ。
そうすると、後免で買ったり、
シドニーで買い物したりで、や
っぱりお金がいるヨネー。

(笑い)



▲「超大商店街誕生」

葛目義人さん（岡豊町笠ノ川）

▶「緑豊か」(遺作)

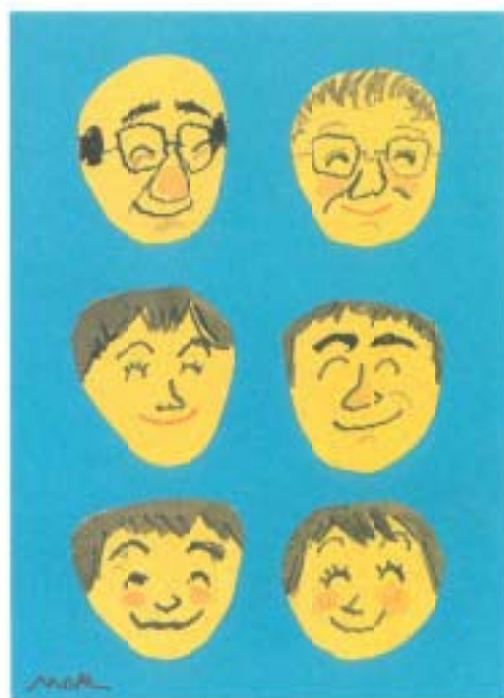
タマリンさん
(岡豊町蒲原)



市民生活のすべてを1つ
のビルで守り、自然を可能
な限り守る。緑豊かなまち
づくり…

タマリンさんのやさしい
人柄がいっぱい感じられる
作品ですネ。雲の上から見
ていてくれているような気
がします。

市制40周年を迎えた南国市は、人に例えると
青年期を過ぎ、最も充実した時期に入ったとい
えるのではないのでしょうか？
そして、間違いなくその強い潜在能力を生かしなが
ら着実に発展し続けているといえます。このときに南国市の同じ空
の下で、同じ空間を共有する私たちは、その未来をどうする
のか、どうすべきかを全体の問題としてしっかり捉えておく
ことが重要ではないでしょうか？
マンガによく未来を表すといわれます。先取の気質が表れ
ます。しかし、今回作家の皆さんは食料危機を訴え、自然保
護を訴え、家族を大切に、そして人と人との交流を進めよ、
と呼びかけました。さらに蓄えと準備を怠るな、とのメッセ
ージを発しています…
千年の昔も、そうだったように…



▶「みんなが笑顔で暮らせる南国市」

森沢良博さん（日吉町）

かわいい絵ですネ。3世代がいてニコニコ…。
理想の家族像ですネ。平凡ですが21世紀になっても
とても大切なこと。少子化対策のポスターにでも
したい作品ですネ。ホントにけっこう。(笑い)
ハッピー・はっぴー。

